

# 付 属 資 料

## 目次

特記仕様書（抜粋）	特1
現場説明付記事項・案内図・配置図	1
機器表（改修）・空調配管系統図（参考図）	2

## 機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 （ 抜 粋 ）

### 京都大学（南部）積貞棟地階厨房系統空調設備改修工事

#### 1. 工 事 概 要

- 工 事 場 所 京都市左京区聖護院川原町54（京都大学病院東構内）
- 完 成 期 限 令和8年12月25日（金曜日）
- 建 物 概 要

建物名称		積貞棟	
工 種		模様替え	
構 造		R8-1	
階 数		地上 8 階 地下 1 階	
建築基準法による	建築面積（㎡）	3,418	
	延べ面積（㎡）	20,315	
消防法施行令別表第一の区分		6項イ（1）	
改修面積（㎡）		530	
備考			

	工事種別	
工事種目	積貞棟	
●空調和設備	一式	
○換気設備		
○排煙設備		
○自動制御設備		
○衛生器具設備		
○給水設備		
○排水設備		
○給湯設備		
○消火設備		
○ガス設備		
○雨水利用設備		
●撤去工事	一式	

本工事は、積貞棟地階厨房エリアの中温用パッケージエアコンならびにクーリングコイルの取替を行うものである。

#### Ⅱ. 工 事 仕 様

##### 1. 共通仕様

(1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、●のついたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）

●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

●文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科仕様書」という。）

●文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年版）（以下「文科標準図」という。）

●工事写真撮影要領（令和5年9月）

##### 2. 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。

(1) 本工事建物周囲には、病院・診療棟や研究施設等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。

(2) 建物や敷地周辺に影響すると思われる騒音・振動・粉塵・臭気等作業は、事前に監督職員と協議の上で進めること。また施工中の防音対策を十分に講じること。

(3) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。

(4) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。

(5) 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。

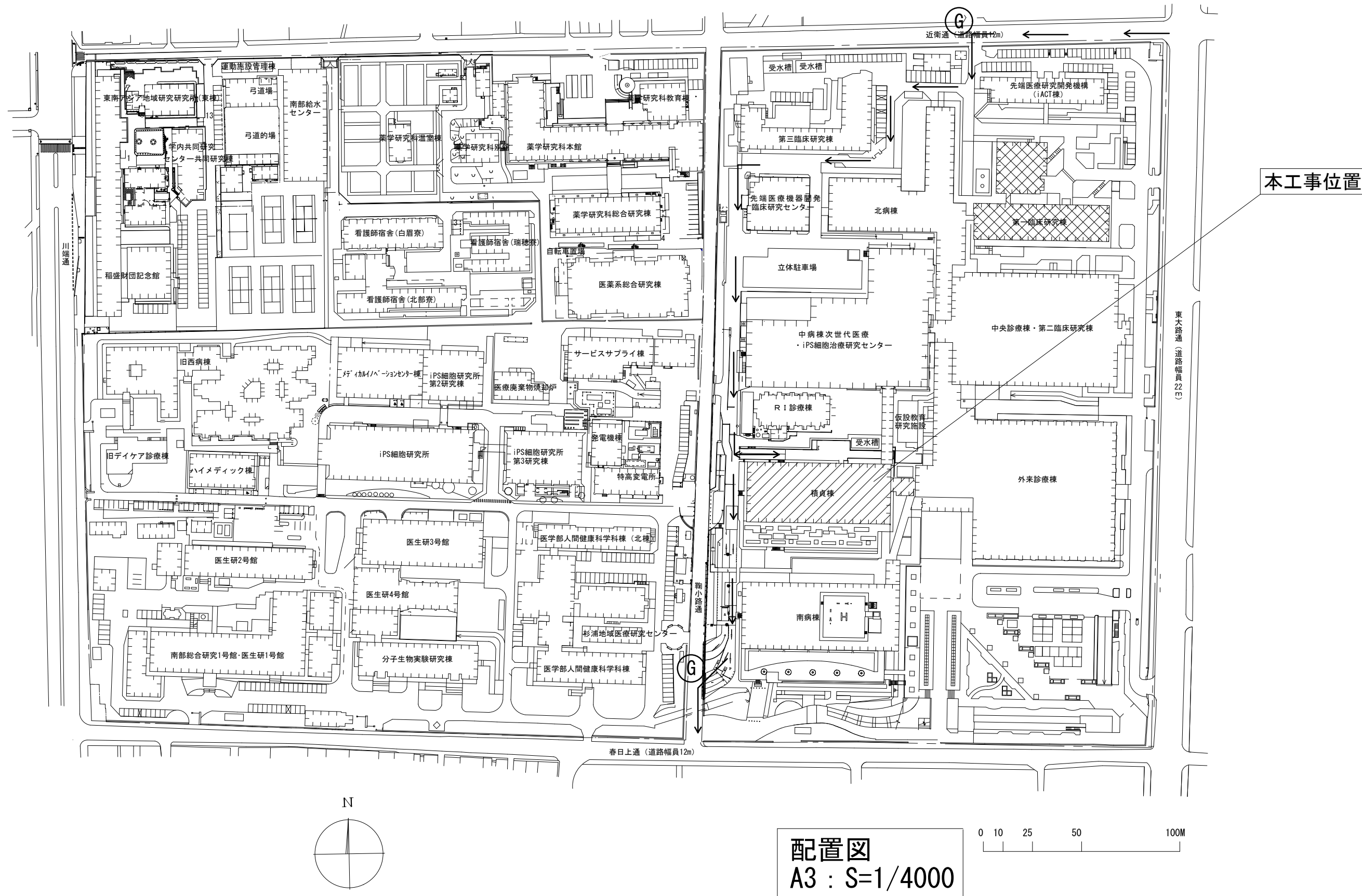
(6) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。

(7) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

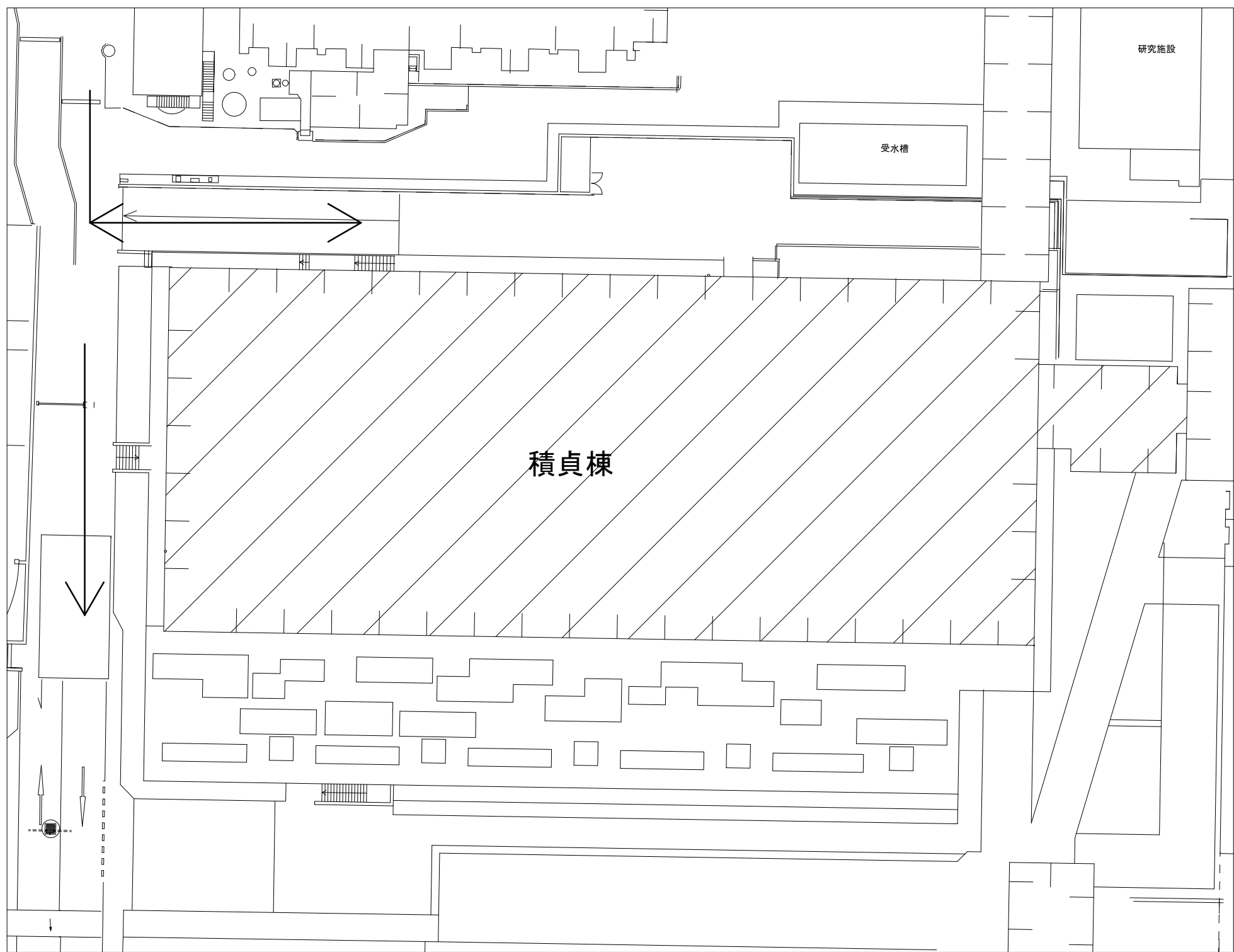
(8) 作業時間は、午後10時から午前5時を原則とし、午前6時から厨房業務を開始できるよう、作業場所の清掃、片付けならびに更新作業中の空調機以外が運転できる状態へ仮復旧を行うものとする。

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。  
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。  
また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・病院行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 4) 撤去工事などで大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、医療関係者、学生、患者等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、工事完成時には現状に復帰して返還すること。
- 10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業の際、同室内に複数台の工事対象機が存在する場合は、1作業日につき1台の実施とし、その停止期間は作業日の1日、配管気密試験および試運転作業日の1日の計2日以内とする。
- 12) 作業に伴う周辺の養生はビニルシートにて作業対象機周囲を区画し、粉塵が周辺に飛散することがないよう養生し、作業員動線および搬出入動線については床面にも養生を行うこと。  
また、落下物等による厨房機器類の損傷のおそれがある箇所については別途、監督職員との協議を行うこと。
- 13) 作業時間は、午後10時から午前5時を原則とし、午前6時から厨房業務を開始できるよう、作業場所の清掃、片付けならびに更新作業中の空調機以外が運転できる状態へ仮復旧を行うものとする。
- 14) 病院構内及び、周辺道路、近隣住宅地付近は一切禁煙とする。
- 15) 更新作業の実施時期は11月から完成期限日までとし、それまでの期間は技術者の専任を要しない。
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネールを設置するなど安全確保に努めること。
- 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



案内図 NO SCALE



凡例

	本工事建物
	既存建物
	資材等搬出入経路
	交通誘導員（搬出入時のみ）
	別途工事中建物

工事名 京都大学（南部）積貞棟地階厨房系統空調設備改修工事	縮尺 A3：図示	令和 8 年 3 月	図面番号
		京都大学 医学部附属病院	1

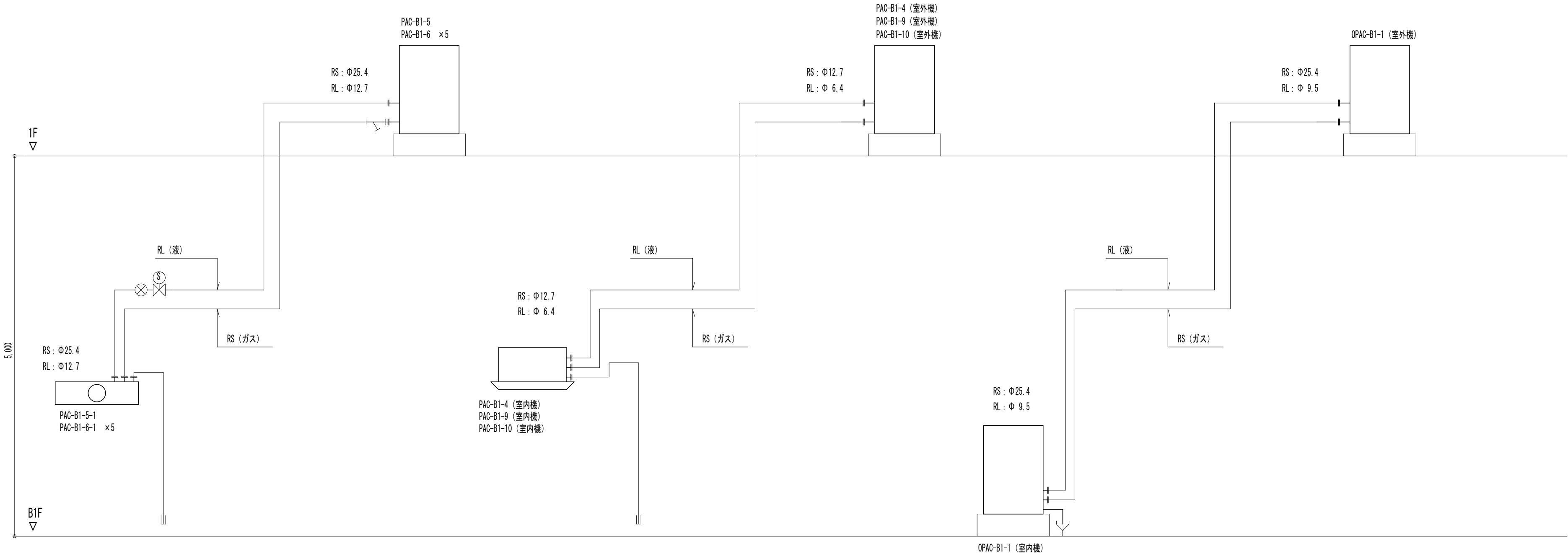
機 器 表 （ 改 修 ）																
記 号	形 式	冷房 能力 kW	暖房 能力 kW	送風機		7144-	電動機（参考）					台数	設置場所	既設電源ケーブルサイズ	備 考	
				風量 m3/min	機外静圧 Pa		φ	V	圧縮機							
									kW	kW						
PAC-B1-4	中温用エアコン 2方向カセット型	1.7～5.6	1.5～6.3	19	—	標準品	(屋外機)	3	200	0.9	0.060	1	1F 屋外	CV 3.5sq -3C E2.0	年間冷房可能型	既設機型番（三洋電機製）
							(室内機)	3	200	—	0.050		B1F 食器冷却室			SPW-CHEP56E
PAC-B1-5	半密閉型冷凍機 スクリータイプ	9.3	—	—	—	—	(屋外機)	3	200	3.00	0.060	1	1F 屋外	CV 5.5sq -3C E2.0	年間冷房可能型	SPW-SSP80E
PAC-B1-5-1	クーリングコイル 天吊露出ダクト型	9.3	(13℃TD)	64		布ダクト						1			年間冷房可能型	
							(室内機)	3	200	4W(ヒーター)	0.600		B1F コールドセクション室			
PAC-B1-6	半密閉型冷凍機 スクリータイプ	9.3	—	—	—	—	(屋外機)	3	200	3.00	0.060	5	1F 屋外	CV 5.5sq -3C E2.0	年間冷房可能型	OCU-MS300FS
PAC-B1-6-1	クーリングコイル 天吊露出ダクト型	9.3	(13℃TD)	64		布ダクト						5			年間冷房可能型	
							(室内機)	3	200	4W(ヒーター)	0.600		B1F 盛付エリア			
PAC-B1-9	中温用エアコン 2方向カセット型	1.7～5.6	1.5～6.3	19	—	標準品	(屋外機)	3	200	0.9	0.060	1	1F 屋外	CV 3.5sq -3C E2.0	年間冷房可能型	SPW-CHEP56E
							(室内機)	3	200	—	0.050		B1F 食品庫 1			屋外機電源送り、ヘアタイプ
PAC-B1-10	中温用エアコン 2方向カセット型	1.7～5.6	1.5～6.3	19	—	標準品	(屋外機)	3	200	0.9	0.060	1	1F 屋外	CV 3.5sq -3C E2.0	年間冷房可能型	SPW-CHEP56E
							(室内機)	3	200	—	0.050		B1F 食品庫 2			屋外機電源送り、ヘアタイプ
OPAC-B1-1	外気処理エアコン 床置型	22.4	—	28	208	中性能	(屋外機)	3	200	4.1	0.700	1	1F 屋外	CVT 14sq E5.5	年間冷房可能型	SPW-CHDXP224BN
							(室内機)	3	200	—	0.200×2		B1F 主機械室	CV 3.5sq -3C		

共通事項

1) 機器は特記事項を除きメーカー標準仕様とする。  
2) 電源周波数は50 Hzとする。  
3) 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。  
4) 圧縮機の容量制御はインバータ制御方式とする。  
5) 屋外機は高調波対策品とし、OPAC-B1-1系統（屋外機のみ）にはスプリング防振架台を付属品とする。  
6) 室内機にはリモコンスイッチ、遠方発停端子の他、下配を付属とする。  
化粧パネル（天井セ型）、ドレンアップメカ（天吊型）、防振吊金物、スプリング防振架台（床置型）  
7) 防振吊金物、スプリング防振架台の絶縁効率は95%以上とする。  
8) 更新に伴い、離線した配線の再結線も本工事とする。  
9) 表中の冷房及び暖房能力は標準条件時（JIS B8616）での数値を表す。  
10) 屋外機基礎及び据付架台用 1 次鋼材は既設とし、2 次鋼材は以下の仕様で本工事とする。  
溝形鋼 （厚さ）5×（高さ）100×（幅）50×（長さ）680×4本

11) 停電後の復旧時に、停電前と同じ設定による復帰運転の機能付きとする。  
12) 一括故障警報表示用接点を設ける。  
13) 予備フィルターはフィルターサイズごとの 1 0 0 %とする。  
14) クーリングコイルには以下の長さの布ダクトを付属とする。  
PAC-B1-5-1系統 3.5m , PAC-B1-6-1系統 6m  
15) PAC-B1-5およびSPAC-B1-6用の開閉器（ELCB）計 6 個を以下のとおり取り替える。  
（撤去）50AF/50AT 感度電流30mA （新設）50AF/30AT 感度電流100mA  
16) 更新後の配置が既設と異なる場合の電源配線および制御配線の延長も本工事とする。  
17) 外気処理エアコンの更新には、既存ダクト接続部のキャンパス継手（920mm×404mm・415mm×475mm各 1 個）の更新を含める。  
18) PAC-B1-4、PAC-B1-9、及びPAC-B1-10の室外機設置の際は、二段置き用の架台を用い、省スペースで設置できるようにすること。 参考品番：K-KWZ7GL（オーケー製材質）

温 湿 度 条 件					備 考
外気条件及び 室名又は系統名	夏 期 乾球温度	相対湿度	冬 期 乾球温度	相対湿度	
外気条件	36.9℃	43.6%	0.4℃	65.9%	
盛付エリア及び コールド・セクション室	8.0℃	成行	8.0℃	成行	
その他	26.0℃	50.0%	22.0℃	40.0%	



空調配管系統図（参考図）

注記）・太線部の機器ならびに配管の更新を行う。  
・既設冷媒管との接続は、以下の工法にて行う。  
（屋外）溶接 （屋内）無火器  
・改修対象の機械まわりの配管は以下のとおり更新とし、  
図示のある場合は図示の範囲の更新を行う。  
（室内機まわり）冷媒管、ドレン管を1m程度更新する。  
（室外機まわり）冷媒管を2m程度更新する。